取扱説明書及び部品表

Takakita

ミニラップマシーン

WM-511E
WM-511M

本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。

株式会社タカキタ

は　じ　め　に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**ミニラップマシーン**の取扱方法と使用上の注意事項について、記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

●お読みになったあとも必ず製品に近接して保管してください。
●製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
●この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社へご注文ください。
●本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
●なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
●ご不明な点やお気付の点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠警 告 サ イ ン

⚠　印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠危険　**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。**

⚠警告　**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。**

⚠注意　**その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。**

目　　次

安全に作業するために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

本製品の使用目的とサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

各部の名称とはたらき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

開梱後の組立て・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

1. ストレッチフレームのセット・・・ 9
2. レンケツロッドのセット・・・ 9
3. 配線の接続・・ 9
4. ワイヤの接続・・・ 10

運転に必要な装置の取扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

1. フィルム巻き付け量の調整・・ 11
2. Ｖベルトの調整・・・ 11
3. ラップマシーンの設置・・ 12
4. フィルムのセット・・・ 12

作　業　方　法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

1. 作業手順と要点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
2. 操作レバー始動位置の確認・・・・・・・・・・・ 14
3. エンジン・モータの始動・・・・・・・・・・・ 14
4. ベールの積み込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
5. フィルムの結び付け・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
6. 本機の始動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
7. ラッピング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
8. フィルムの切断・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
9. フィルムの抜き取り・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

作業前の点検について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

簡単な手入れと処置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

1. 各部への給油・グリスアップ・・・ 18
2. ゴムローラの手入れ・・・ 18
3. 長期格納時の手入れ・・・ 18

不　調　診　断・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

付　　表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

⚠ 安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解したうえで使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。
機械を人に貸すとき、または所有者以外が運転するときは、運転方法を指導し、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

１．本機を使用するにあたって

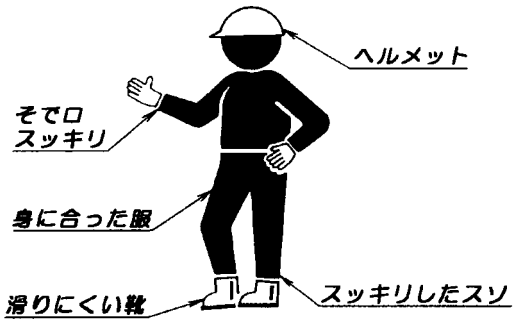
（１）使用する人の条件

次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- ●飲酒したとき。
- ●過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- ●妊娠しているとき。
- ●取扱方法を熟知していない人。

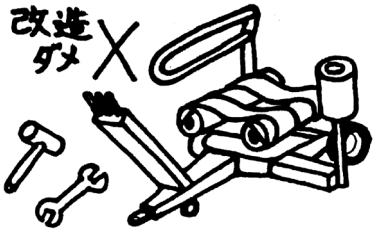
（２）使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



（３）機械の改造厳禁

指定以外の部品を取付けないでください。
また、改造をしないでください。



（４）機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。

２．点検・整備をしてください

（１）１年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、１年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。

⚠ 安全に作業するために

（２）作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

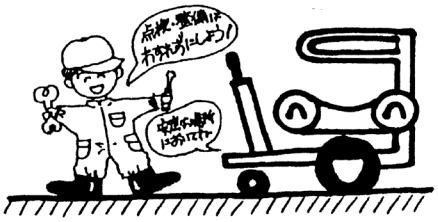
守らないと傷害事故をひきおこす恐れがあります。

（３）点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所でエンジンを停止してから行ってください。

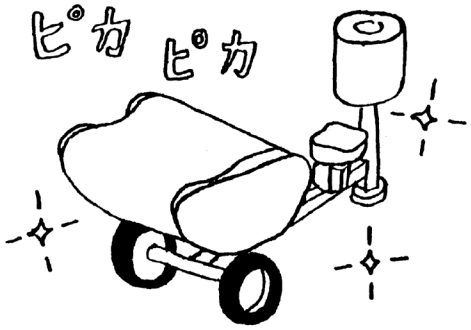
モータ仕様の場合は、必ずスイッチを切り、コンセントを抜いてください。

守らないと傷害事故をひきおこす恐れがあります。



（４）機械を常にきれいに

性能を長期間維持するためにも、機械を常にきれいに維持してください。



（５）排気ガスには十分注意

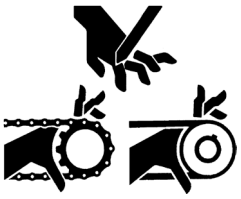
屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。

エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。

（６）カバー類を必ず取付ける

カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずエンジンを停止してから行ってください。

また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと、傷害事故を引き起こす恐れがあります。



（７）注油・給油するときは

必ずエンジンを停止してから行ってください。

火災予防のためにも、エンジンが熱いあいだは絶対に注油・給油しないでください。

⚠ 安全に作業するために

（８）燃料補給時は火気厳禁

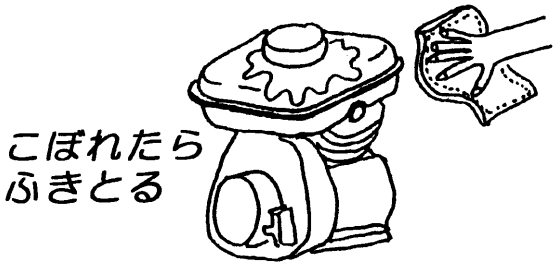
燃料補給時は、くわえたばこやマッチ・ライター等裸火照明は絶対に使用しないでください。

守らないと燃料に引火し、火災をおこす恐れがあります。

（９）こぼれた燃料はふき取る

燃料を補給したときは燃料キャップを確実に閉め、こぼれた燃料はきれいにふき取ってください。

守らないと火災事故を引き起こす可能性があります。



（１０）マフラー・エンジンのゴミは取り除く

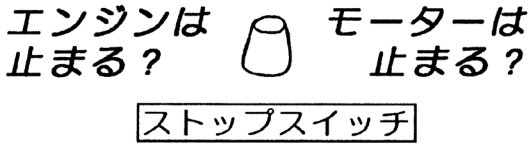
作業前には、マフラーやエンジン周辺にワラクズ・ゴミ等が付着していないか点検し、付着していれば取り除いてください。

守らないと火災事故をおこす恐れがあります。

（１１）ストップスイッチの動作

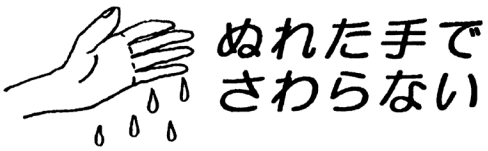
配線コードの外れ等がないかを点検し、ストップスイッチを押してエンジンが停止するか、モータ仕様の場合はモータが停止するかを必ず確認してください。

守らないと傷害事故をひきおこす恐れがあります。



（１２）ぬれた手でさわらない

漏電によって傷害事故をひきおこす恐れがあるため、ぬれた手でさわらないでください。



（１３）モータ仕様の場合

モータには保護装置が付いていません。コンセントを接続する先にブレーカ(過電流保護装置、漏電遮断器内蔵のもの)が設置されていることを確認してください。また、モータとコンセントのアース端子を接続してください。

守らないとモータが故障する恐れがあります。

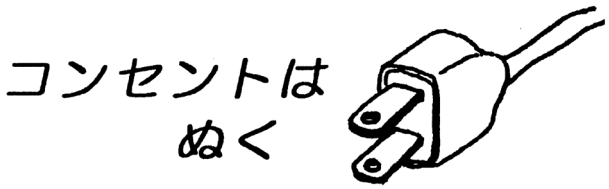
⚠ 安全に作業するために

（１４）長期間格納するときは

燃料の変質を予防するため、燃料タンク・気化器内の燃料を抜いてください。

モータ仕様の場合は必ずスイッチを切り、コンセントを抜いてください。

守らないと火災事故をひきおこす恐れがあります。



注 意

各チェン、各回転部分や摩擦しゅう動部分部分には十分注油してください。また、部品が摩耗したまま使い続けると、摩擦による過熱の原因となり、場合によっては火災となります。

３．作業・移動をするときは

（１）人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

（２）エンジンを始動するときは

PTOを切り、変速レバーを中立にし周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。

守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。

（３）ストレッチフィルムの交換や草の巻きつきを取り除くときは

操作レバーを中立にし、エンジンまたはモータを必ず停止してから行ってください。

守らないと傷害事故をひきおこす恐れがあります。

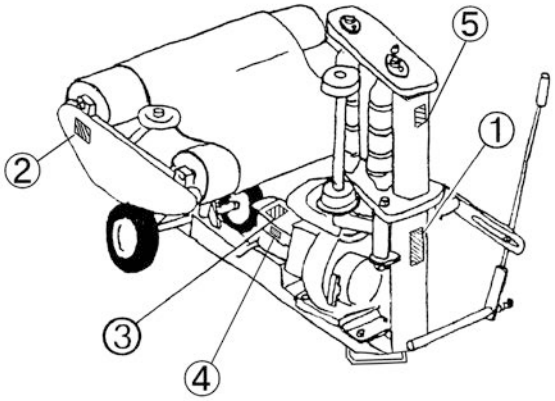
（４）水気のあるところでは使わない

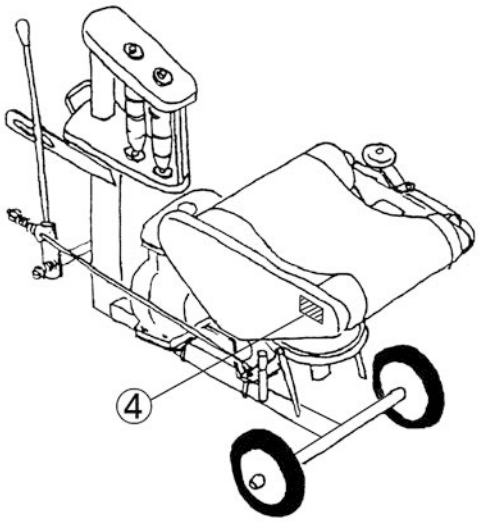
感電する恐れがあるため、水気のあるところでは使わないでください。

⚠ 安全に作業するために

以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

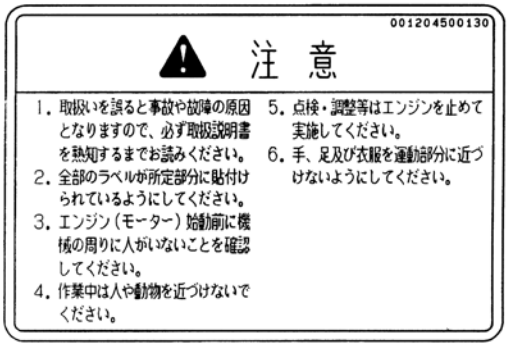
4．警告ラベルの貼付け位置





①部品コード　001206000780

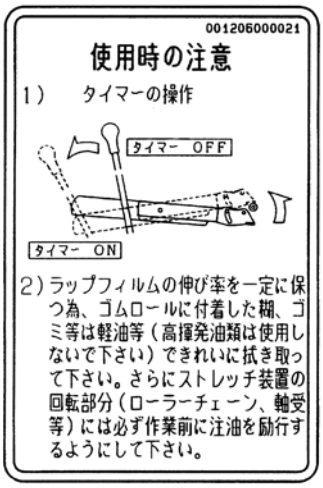
③部品コード　001204500130



②部品コード　001206000610

④部品コード　001206000800

⑤部品コード 001206000021



警告ラベルの取扱い注意事項

（1）警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合は、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。

（2）傷ついたり、汚れたり、剥がれた場合は、お買い上げの販売店または当社に注文し、新しいラベルを元の位置に貼ってください。（ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。）

（3）警告ラベルが貼っている部品を交換する場合は、新しいラベルを注文し、元の位置に貼ってください。

（4）新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。
気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

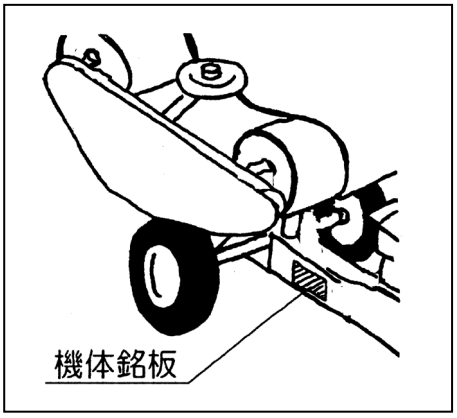
本製品の使用目的について

本製品は、稲ワラ、牧草、麦稈等のベールをラップする作業にご使用ください。
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、ＪＡ（農協)、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。

（機体銘板貼付け位置図）



【連絡していただきたい内容】

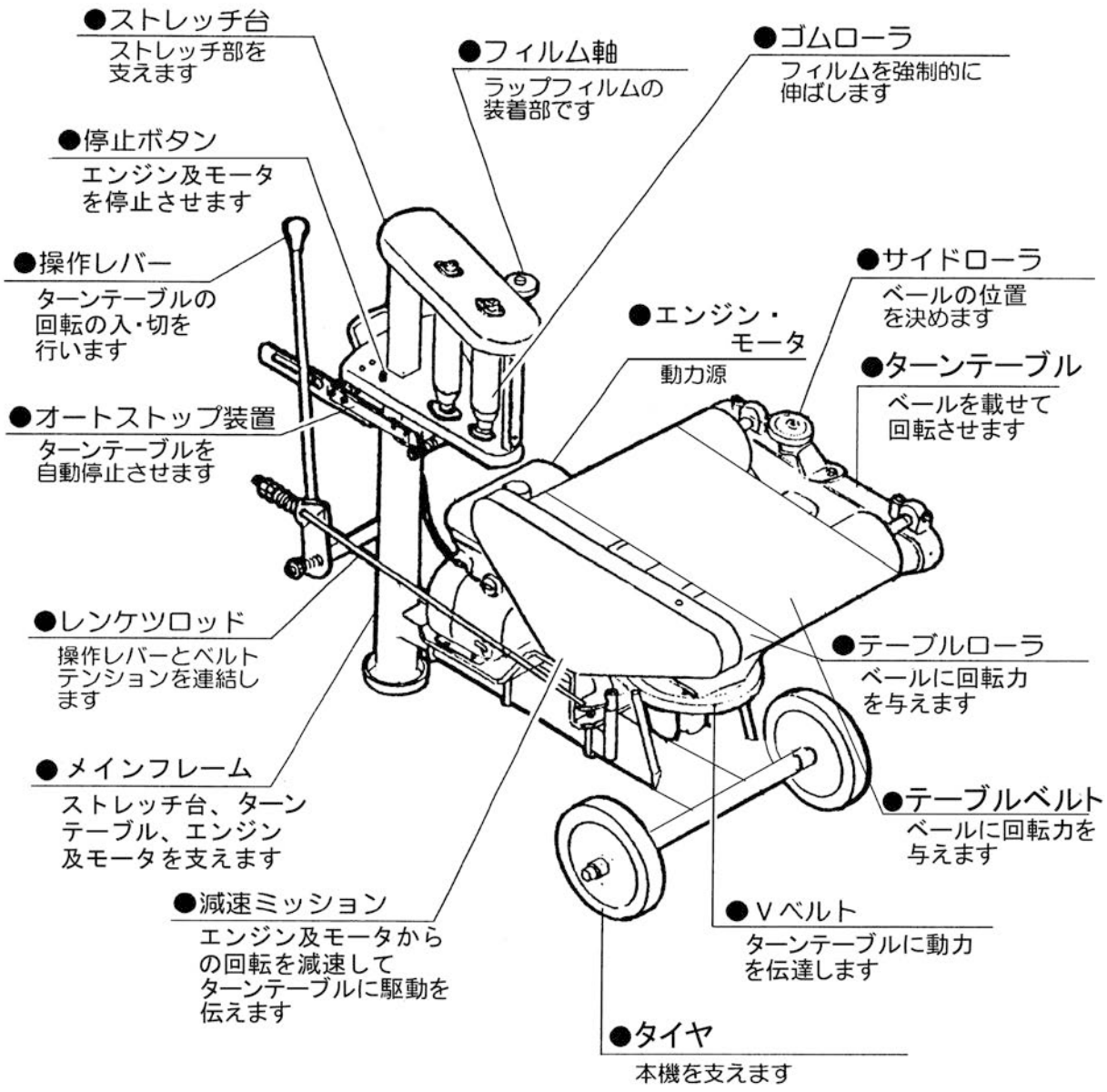
●品名と型式
●機体No.（ＳＥＲ－Ｎｏ）
●ご使用状況は？
（どんな条件でどんな作業をしていたときに）
●どれくらい使用されましたか？
（約○○アール、または約○○時間使用後）
●不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体№は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体No. などを記入しておいてください。】

品　　名	ミニラップマシーン
型　　式	ＷＭ－５１１Ｅ　・　ＷＭ－５１１Ｍ
機 体 No. (SER－No.)	
購入年月日	年　　月　　日
販売店名	TEL：　　(　　)

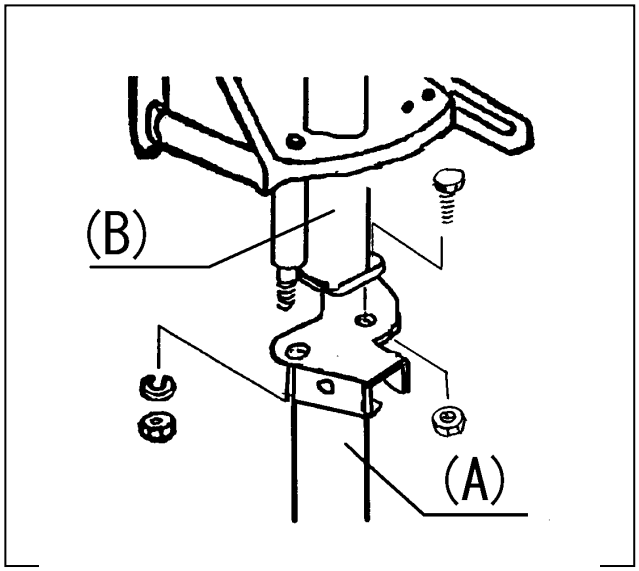
各部の名称とはたらき


●ストレッチ台
ストレッチ部を支えます
●フィルム軸
ラップフィルムの装着部です
●ゴムローラ
フィルムを強制的に伸ばします
●停止ボタン
エンジン及モータを停止させます
●操作レバー
ターンテーブルの回転の入・切を行います
●サイドローラ
ベールの位置を決めます
●エンジン・モータ
動力源
●ターンテーブル
ベールを載せて回転させます
●オートストップ装置
ターンテーブルを自動停止させます
●レンケツロッド
操作レバーとベルトテンションを連結します
●テーブルローラ
ベールに回転力を与えます
●メインフレーム
ストレッチ台、ターンテーブル、エンジン及モータを支えます
●テーブルベルト
ベールに回転力を与えます
●減速ミッション
エンジン及モータからの回転を減速してターンテーブルに駆動を伝えます
●Vベルト
ターンテーブルに動力を伝達します
●タイヤ
本機を支えます

開梱後の組立て

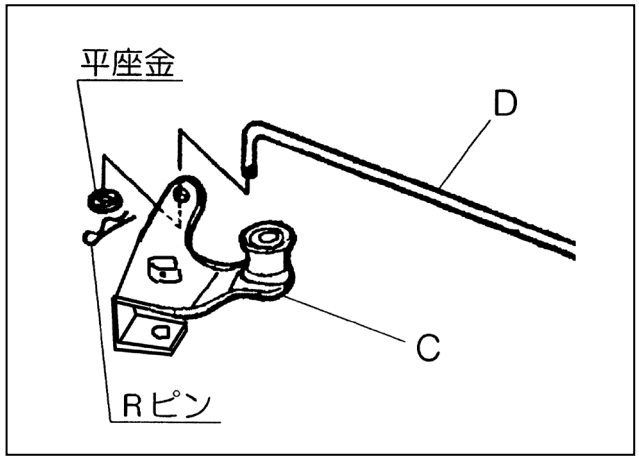
１．ストレッチフレームのセット

メインフレーム(A)とストレッチフレーム(B)をボルト、ナット、バネザガネで締め付けてください。



２．レンケツロッドのセット

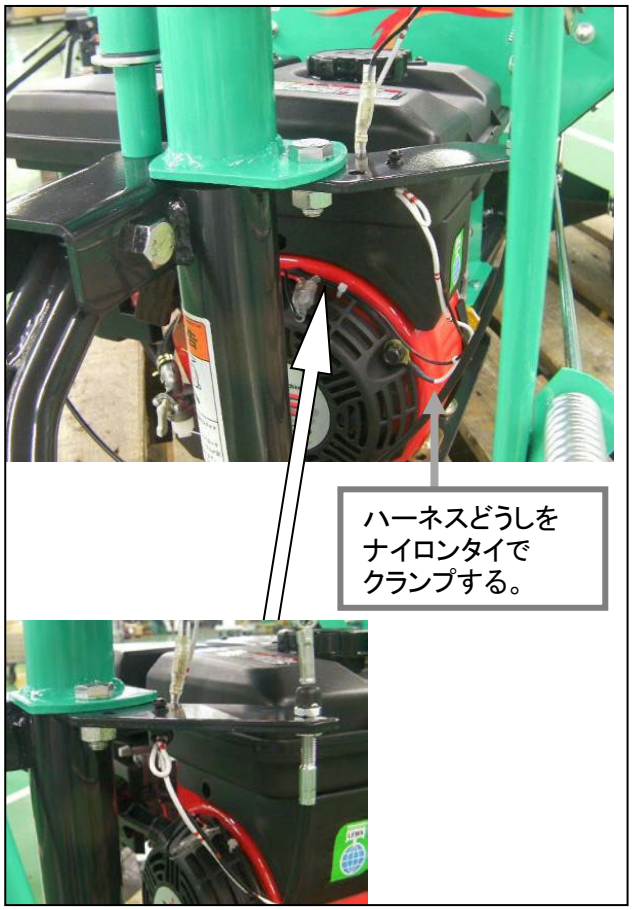
Ｖベルトのテンションアーム(C)の穴にレンケツロッド(D)を図のように差し込み、平座金とＲピンで固定してください。



３．配線の接続（WM－５１１E）

①アース線はエンジンスタータカバー取り付けボルトに共締めしてください。

②エンジンストップスイッチ用ハーネスと停止ボタンのハーネスをギボシで接続してください。



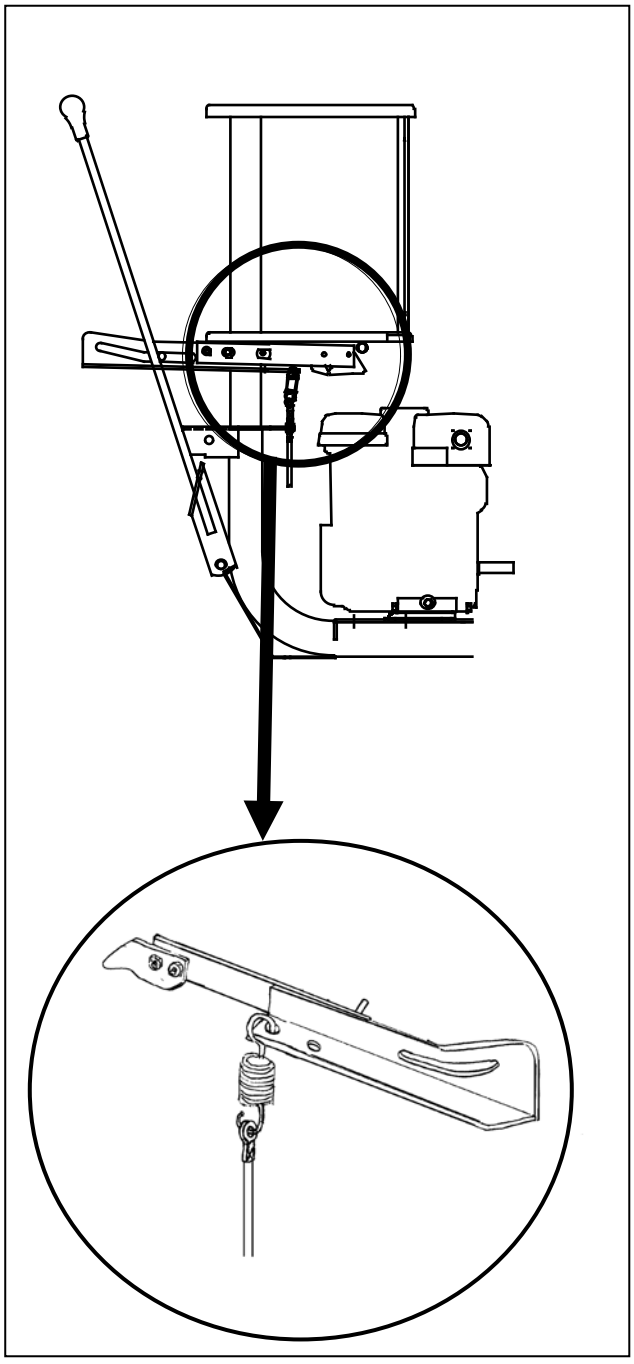
③プッシュマウントタイで余ったコードをクランプしてください。

配線のたるみにより、スタータロープを引く時に引っ掛けるおそれがありますので前項の要領で確実に配線してください。

開梱後の組立て

４．ワイヤの接続（WM－５１１E）

エンジンスロットルワイヤ先端のバネをマキスウカクニンプレートの図の穴に引っ掛けてください。



スプリング両端のフックは外れないように締めてください。

運転に必要な装置の取扱い

1．フィルム巻き付け量の調整

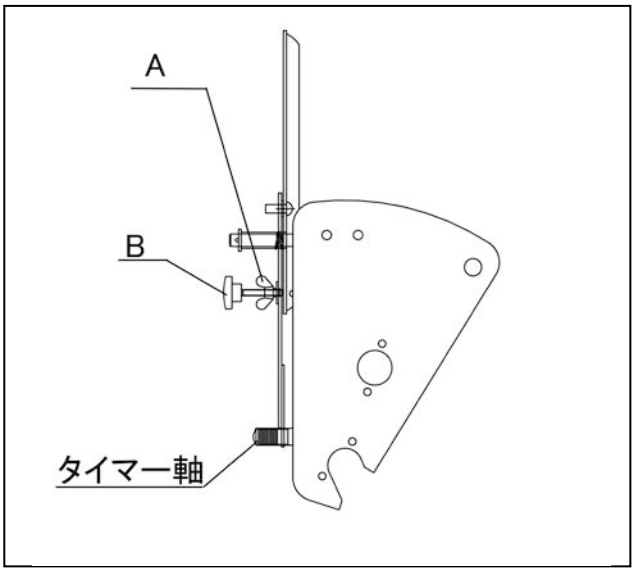
●オートストップ装置は、２層～６層巻きまで任意に設定可能です。

●巻き数設定は次記の要領で設定してください。

①図の蝶ナット(A)を緩めてください。

②ノブボルト(B)を回してタイマー軸のＬ寸法を表１の数値を参考にして合わせてください。

③再度、蝶ナット(A)を締めて固定してください。



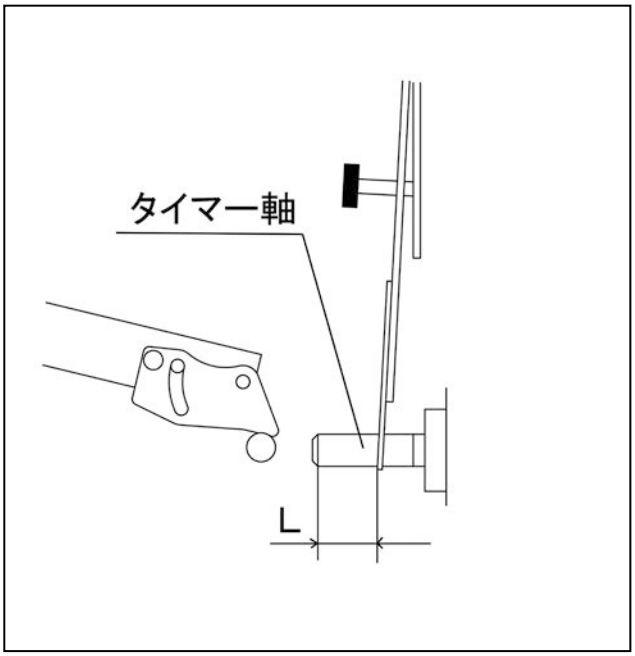


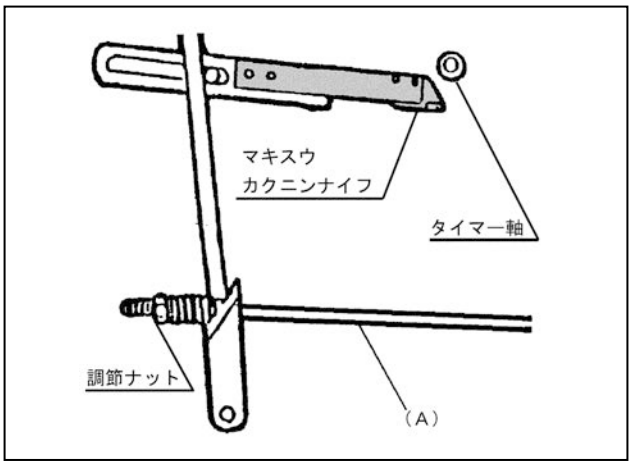
表１

巻き数	L寸法(mm)
2層巻き	8
4層巻き	16
6層巻き	24

注 意

ベール形状により、実際の巻き数と誤差が発生する可能性があります。表の数値は目安とし、Ｌ寸法の微調整をする必要があります。

2．Ｖベルトの調整



①マキスウカクニンナイフをはずれた状態にしてください。

②ターンテーブル付近に人がいないことを確認してからエンジン、モータを始動させてください。

③レンケツロッド(A)の調節ナットを回してテーブルが回り出すまで締めてください。

④次にターンテーブルがつれ回りしない所まで調節ナットを緩めてください。

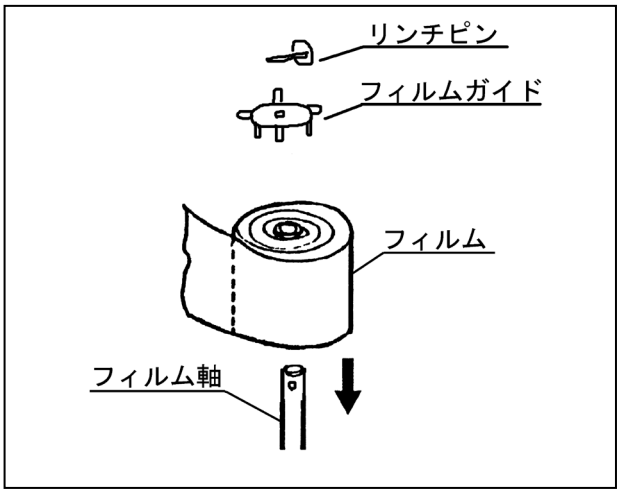
⑤使用中にＶベルトが伸びてきたときは、減速機およびエンジン固定ボルトを緩めて移動させベルトを張ってください。

３．ラップマシーンの設置

できるだけ水平でまわりに障害物がないところに設置してください。

４．フィルムのセット

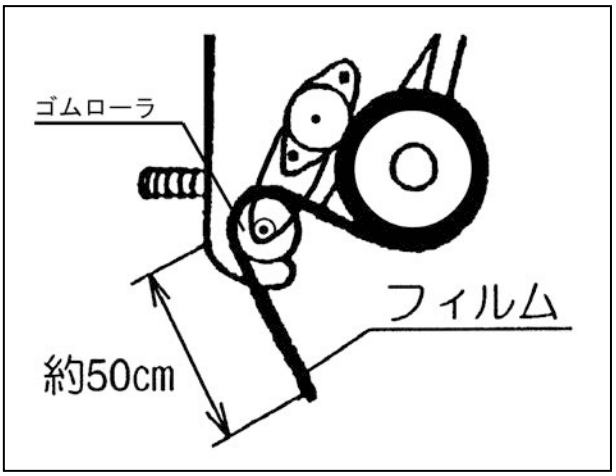
①フィルムの巻き方向を次のようにしてフィルム軸に差し込んでください。



注 意

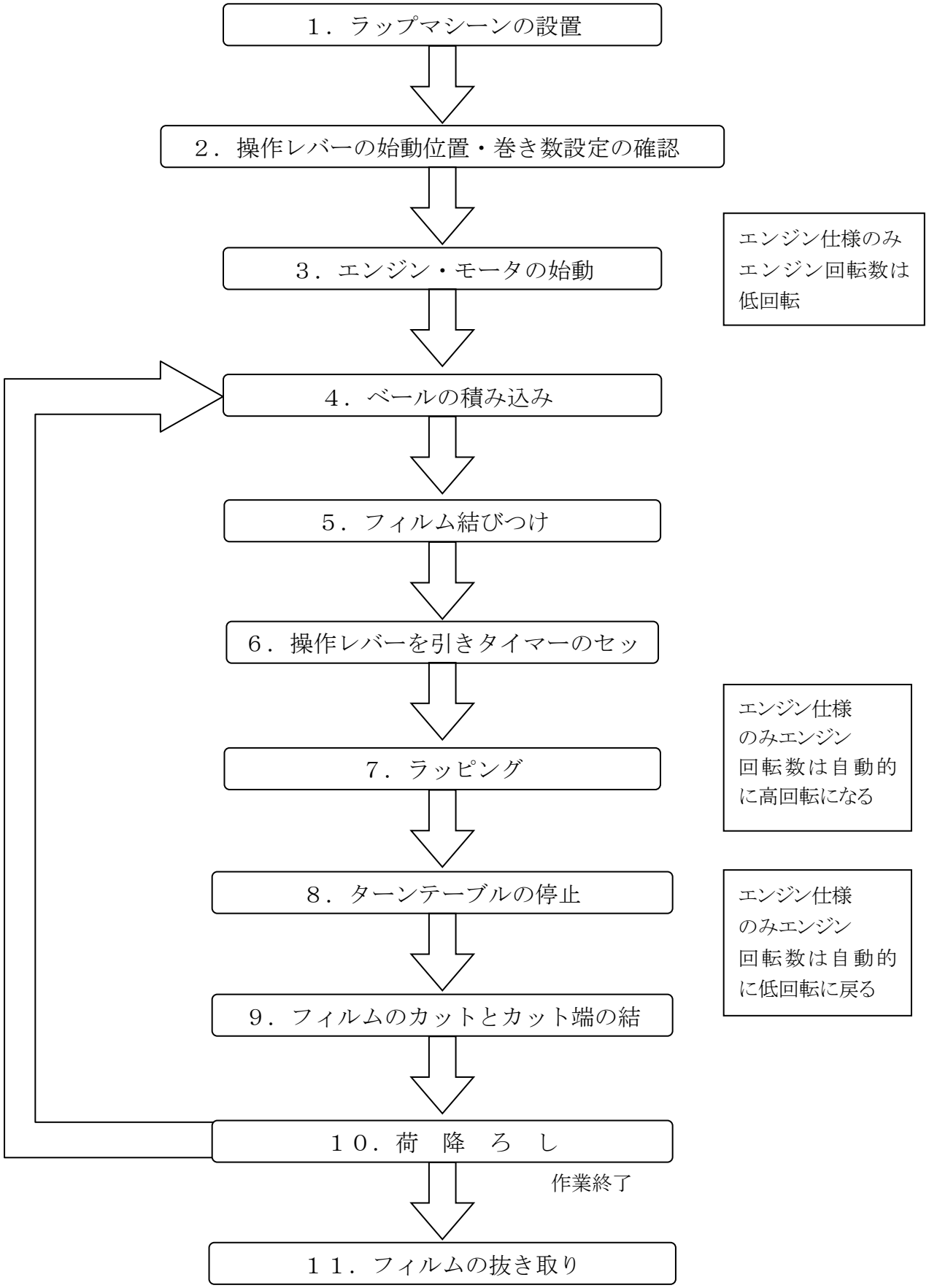
フィルムに傷をつけないよう、十分注意してください。

②フィルムは次のようにゴムローラから約50cm引き出してください。



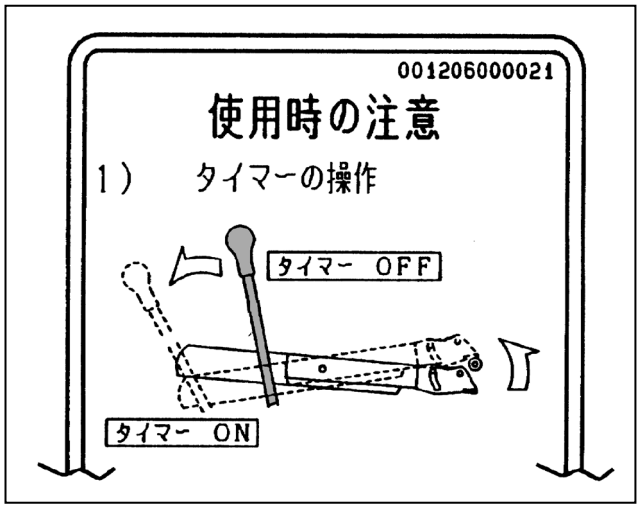
作　業　方　法

1．作業手順と要点



2．操作レバー始動位置の確認

次図の貼付マークのように操作レバーがタイマーOFFの状態であることを確認してください。



⚠警 告

操作レバーが始動位置に無いとエンジン、モータを始動させた時､急にターンテーブルが回転し、非常に危険ですので注意してください。

3．エンジン・モータの始動

周囲に人がいないことを確認してからエンジン、モータを始動させてください。

◆エンジンの場合

スタータロープを引いて始動させてください。タイマーOFF(作業していない状態)時は、エンジン回転数が低回転の状態で、タイマーON(作業をしている状態)時は、自動的にエンジン回転数が高回転状態になります。

◆モータの場合

コンセントを家庭用の100Vの電源に挿し込み、スイッチをONにしてください。

注 意

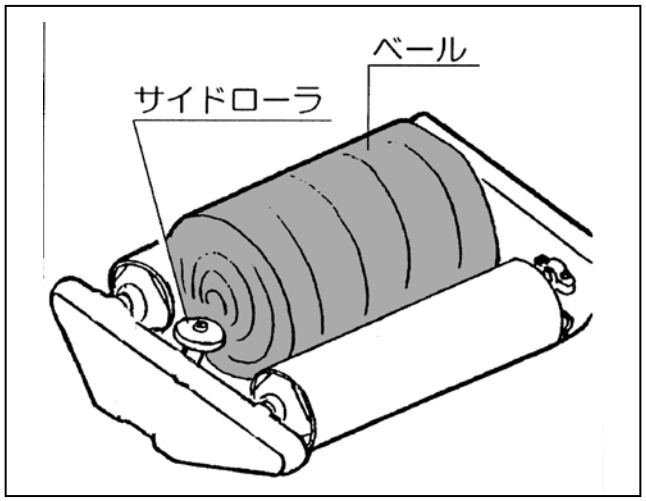
エンジンの取扱いについては、別冊のエンジン説明書をお読みください。

モータの取扱いについては、別冊のモータ説明書をお読みください。

4．ベールの積み込み

●ベールは静かに回転テーブルの中心にのせてください。

●サイドローラをベールの幅に合わせてください。

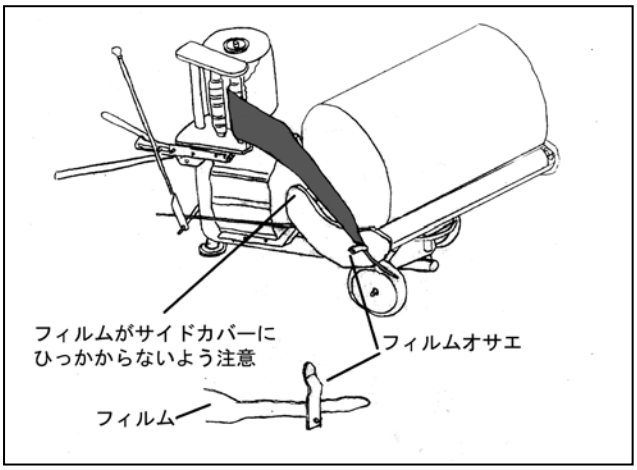


作　業　方　法

５．フィルムの結び付け

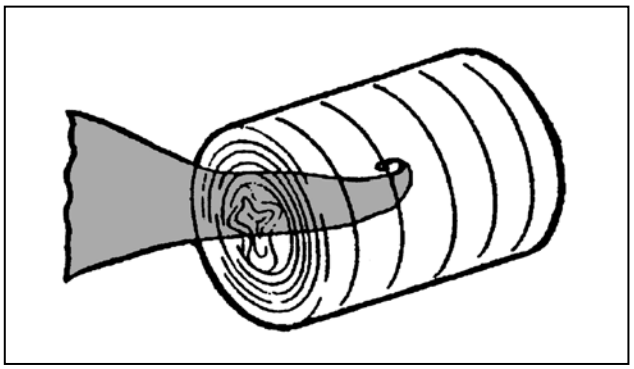
●方法１

フィルムは次のようにゴムローラの間を通して、ターンテーブルのフィルムオサエにしっかり挟みこみ、手でターンテーブルを90度位回転させてください。その際、ターンテーブルのサイドカバーにフィルムがひっかからないように注意してください。



●方法２

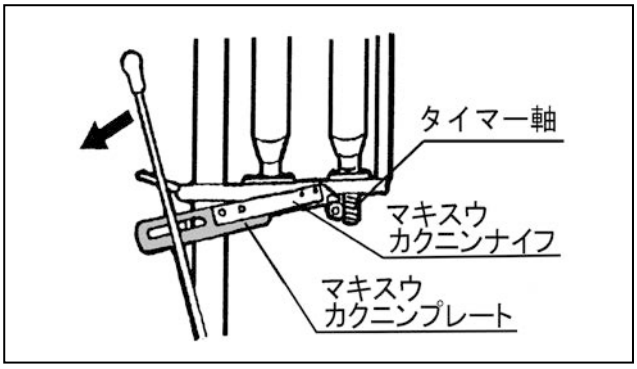
ベールのトワインに結び付けてください。



６．本機の始動

●操作レバーをマキスウカクニンプレートの長穴に入れてレバーを引き、回転テーブルを2、3回まわしてベールが安定したら、マキスウカクニンナイフをタイマー軸にのせてください。

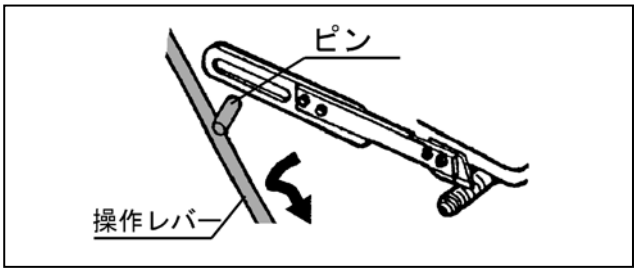
エンジン仕様（WM－511E）はターンテーブルが回転すると自動的にエンジン回転が上がります。



注 意

ベール重量が17kg以下の場合はラッピングできませんので注意してください。

●ベール重量が20kg未満の場合、ベールが安定しない時は、操作レバーを次のようにピンを抜いてレバーを戻してください。ベールを安定させた後、再び長穴にピンを入れて再始動してください。



⚠警 告

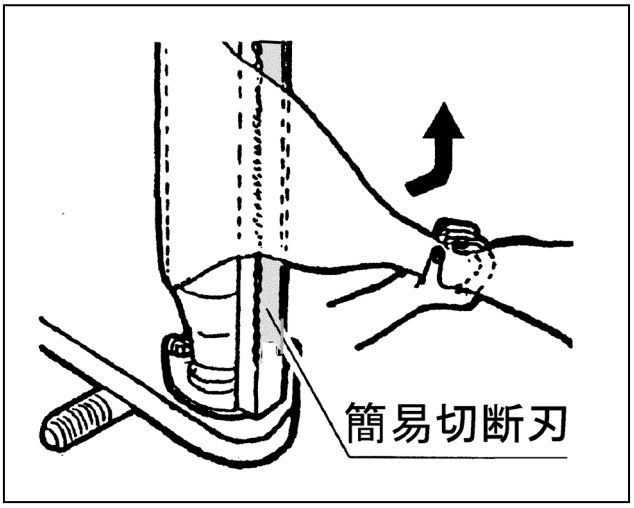
本機に異常がある場合は、非常停止ボタンを押してエンジン、モータを停止してください。

7．ラッピング

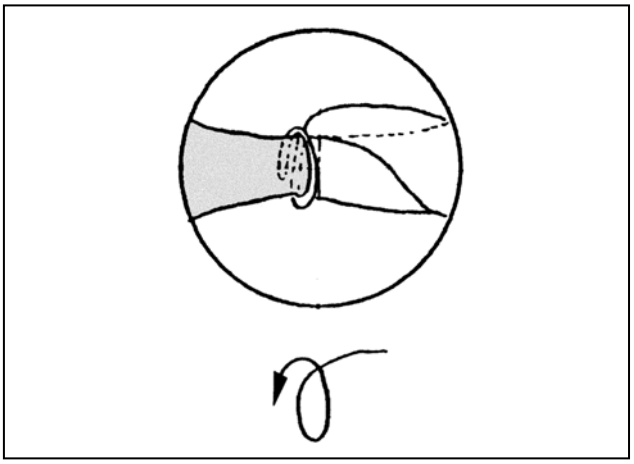
本機は、設定巻き数ラッピングした後、オートストップ装置が働いて自動的にターンテーブルが停止するようになっています。
また、エンジン仕様(WM－511E)はターンテーブルが停止すると、自動的にエンジン回転数が下がり、燃料消費をおさえる構造になっています。

8．フィルムの切断

●ラッピングが終わりましたら、ストレッチ台に装備している簡易切断刃で次のようにフィルムを手で押しながら引き上げ、切断してください。



●ベール側のカット端を次のように巻き付けたフィルムにしっかり挟みつけてください。



9．フィルムの抜き取り

ベールのラッピング作業が終わりましたら、必ずフィルムをフィルム軸から抜き取り、乾燥した屋内で保管してください。

注 意

フィルムは雨に濡らさないようにしてください。芯の紙筒が変形します。
万一、変形した場合はフィルム軸からフィルムが抜けなくなりますので特に注意してください。

作業前の点検について

作業の安全確保と故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。
作業前の点検は、欠かさず行ってください。

⚠警 告

●取り外したカバー類は必ず取り付けてください。衣服が巻き込まれたりして危険です。
●点検・整備をするときは必ずエンジンを停止して、モータ仕様の場合はスイッチを切りコンセントを抜いてください。
これを怠ると重大な傷害事故をひき起こすおそれがあります。

点検整備基準

○点 検　●交 換　△補 給　□清 掃

作 業 内 容	時 間				備 考
	作業前毎	作業後毎	50時間毎	100時間毎	
ボルト、ナットのゆるみ				○	
タイマーまわり		□			
エンジンまわり		□			エンジン仕様のみ
ゴムローラの掃除		□			
エンジンオイル	○			●	エンジン仕様のみ ※初回のみ25時間で交換
エアクリーナ	○		□		エンジン仕様のみ
ターンテーブルチェン		○			
ストレッチチェン		○			
テーブルローラ駆動		○			
ブレーカの設置	○				モータ仕様のみ
モータのアース接続	○				モータ仕様のみ

注 意

特に作業条件が悪い場合や、連続作業で稼動率が高いときは適宜規定の時間より早めに点検整備してください。

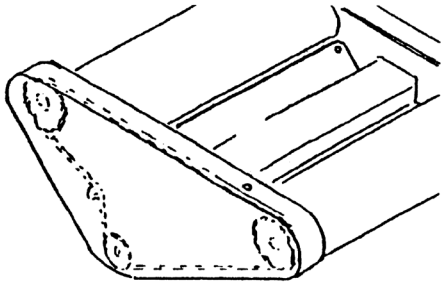
簡単な手入れと処置

⚠警 告

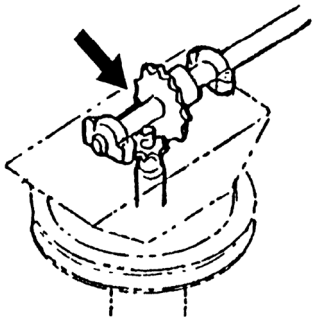
①各部を調整するときは、必ずエンジンまたはモータを停止して、回転部が止まってから行ってください。
②取り外したカバー類は、必ず取り付けてください。

1．各部への注油・グリスアップ

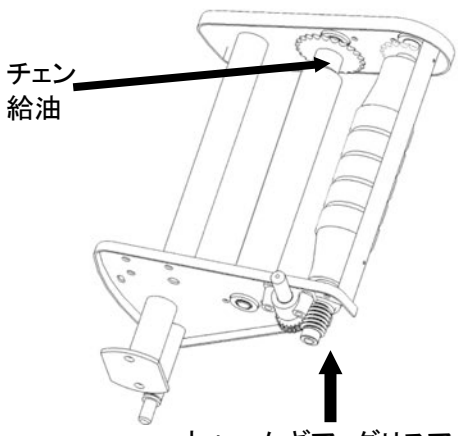
作業の前後には、次の回転部に給油およびグリスアップを行ってください。



ターンテーブルチェンカバー内　給油



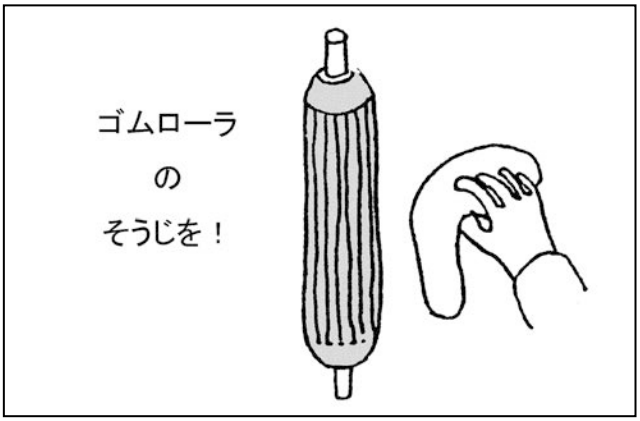
テーブルローラ駆動部　グリスアップ



ウォームギア　グリスアップ

2．ゴムローラの手入れ

作業後、ゴムローラに付着したのりを軽油等で拭き取ってください。
のりが付着したまま作業を続けると、フィルムの張力が一定せず、巻きムラが起こることがあります。



3．長期格納時の手入れ

作業が終了しましたら、次シーズンの使用時に備えかつ、末長くご利用いただくためにも十分な、お手入れを行ってください。

●特にターンテーブル上、ストレッチ台および、プーリ付近のワラクズ等は駆動部への巻き付き原因になりますので除去し、清掃してください。
●モータ仕様でコードに傷がついていないか確認してください。
万一、傷を発見したら絶縁テープでしっかり補修するか、傷がひどい場合はコードを交換してください。
●洗車する場合にはエンジン、モータには水をかけないでください。
●塗装のはがれた部分には補正塗料等を塗り、錆が出ないようにしてください。
●各部のボルト、ナットが緩んでいないかを確認し、緩んでいるときは締め付けてください。
●格納する場所は、平坦で雨やほこりのかからない屋内で保管してください。

不 調 診 断

不　調　内　容	診　　断	処　　置	参照ページ
●フィルムがよく切れる	●ゴムローラが汚れている	●ゴムローラをきれいにする	18
	●チェンの油切れ	●ストレッチチェンに注油する	18
●ターンテーブルが停止しない	●Vベルトの張り過ぎ	●Vベルトの調整	11
●ターンテーブルが回転しない	●Vベルトの緩み	●Vベルトの調整	11
●ターンテーブルからベールが落ちる	●ベールが軽すぎる	●17kg以上のベールを作る	15

この項にしたがって、再度点検しても改善しないときには販売店へお問い合わせください。

付　　表

1．主要諸元

品名		ミニラップマシーン	
型式		WM－511E	WM－511M
原動機		三菱エンジン(ガソリン)	モータ
エンジン型式・規格		GB101LN－120 1．6kW(2．2PS)	単相100V 200W
機体寸法	全長(mm)	1750	
	全幅(mm)	900	
	全高(mm)	840	
質量(kg)		69	65
適用ベール		直径50×幅60～73(cm)　17kg以上	

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。

2．主な消耗部品

部品名称	部品コード	備考
Vベルト	03610　0010　490	A-49
マキスウカクニンナイフ	11676　3216　001	
テーブルシート	36105　4210　001	